

# 杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

## 思いが一つになったから

校長 小山 裕之

「僕たち、私たち選手一同は、今日のために練習に全力で励んできました。今日を迎えるまでに、たくさんの困難やアクシデントもありましたが、天候に恵まれ、今日、第77回体育祭を迎えられることを嬉しく思います。今日のために指導して下さった先生方や共に頑張ってきた仲間への感謝を胸に、協力・団結して競技することを誓います……。」

6月19日(月)令和5年度の体育祭が体育委員長さん、副委員長さんの選手宣誓で幕を開けました。予定日が2度の台風接近と重なる時期となり、生徒は、やり場のない気持ちを抱える日々を過ごしました。しかし、翌日以降は昼休みになると、カメラを手にした学年職員と共に、グラウンドで明るい声を響かせ、練習に汗を流しました。当日の最終種目である「みんなでジャンプ」の前には、各学年の主任からエールが送られ、明るく爽やかに答える様子が何とも微笑ましい姿でした。上手く跳べても跳べなくても、仲間と声を掛け合い、かけがえのない時間を共にする生徒たちでした。



6月12日(月)5校時は、生徒総会を行いました。2名の議長さんを中心に議事が進行し、本部役員さんからは、昨年度の活動・会計報告と共に、令和5年度の活動方針や予算案等が説明されました。今年度の活動テーマは、『keep trying new things』～679人の考えを大切に～です。本部役員だけでなく、生徒一人一人の考えを大切に

して、新たな取組に挑戦し続ける生徒会活動を目指すこと等が語られました。また、専門委員会の委員長さんからは、今年度の活動計画が説明され、「給食キャンペーンの内容」や「休み時間の過ごし方」等について、質問や意見が出されました。こうした自治的活動を通して自ら学校に関わることが、生徒の前向きな態度や責任ある行動を培っていくのだろうと感じました。



「和衷京(協)同～心同じく力を合わせ、四ヶ条にあたるべし」は、修学旅行の合言葉です。6月

24日(土)から3日間、3年生は修学旅行に行ってきました。初日は奈良公園、2日目は京都市内の班別行動、最終日はクラス別で古都の歴史や文化を学びました。「食事を残さずちゃんと食べると、こんなこともできるようになります。」食事の時間には、司会進行係の生徒が突然倒立をしたり、コントを披露したりする場面もありました。勇気と優しい心遣いにより、皆が自然と笑顔になりました。また、旅行中に誕生日を迎えた友達へ、全員で「Happy Birthday」を歌うと、会場が温かい拍手に包まれて、皆が一つになれた気がしました。

体育祭の閉会式での実行委員長さんの言葉が思い出されます。

「熱心に指導して下さった先生方、朝早く登校して準備を進めてくれた委員会の皆さん、私たちの雄姿を見届けるためにお越しく下さった保護者の方々。そして何より、今日一日を全力で頑張った全校生徒の皆さん。多くの人たちの思いが一つになったからこそ、本日の体育祭が成功したのだと思います……。」

夏の日差しを浴びて、少し日焼けした顔の杉中生は、多くの人々の思いや支えを力に変えて、7月を迎えます。

